





審査結果報告書

2021年 1月 25日

主査氏名	生地新	
副査氏名	岩瀬俊美	
副査氏名	山下拓	
副査氏名	武隈剛	

1. 申請者氏名 : DM14002 朝倉 崇文

2. 論文テーマ :

A comparative study of the outcomes of individual psychotherapy alone and in conjunction with group psychotherapy for gambling disorder

(ギャンブル障害に対する個人精神療法と個人精神療法に集団精神療法を併用することの転帰の比較)

3. 論文審査結果 :

本論文は、北里大学東病院ギャンブル障害専門外来の患者を対象にして、個人療法だけの群（個人療法群）と個人療法と集団療法を併用した群（集団療法群）で、治療の転帰に違いがあるかを検討した研究である。研究の結果、集団療法群において男性が有意に多く、借金額も有意に多いことが示された。治療の転帰については、両群間に有意な差を認めなかった。我が国において、ギャンブル障害を専門にした外来は少なく、ギャンブル障害に対する集団療法の効果を検証した研究も少ない。結果としては、集団療法を併用した場合に個人療法だけの場合よりも転帰が良いことを証明できなかったが、このようなギャンブル障害の治療について多数の症例について検討したという意味で臨床精神医学的には貴重な論文である。今後、申請者らによって、前方視的で対象者を無作為に割り付けた比較対照研究を行うことが望まれる。

申請者は、研究倫理を守った研究を行っており、自分の研究についてわかりやすく説明し、質問についても適切に答え、研究の限界についても理解していた。よって、審査委員会は、申請者の提出した論文が、北里大学大学院医療系研究科博士課程の学位論文として認められる水準に達していると判断した。